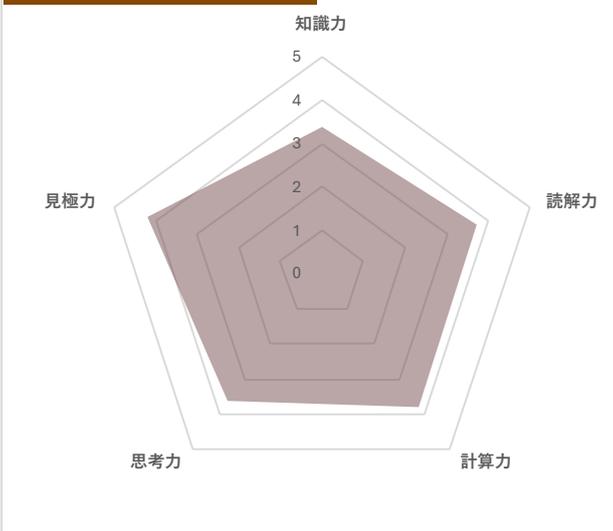


総合分析

試験区分 一期

制限時間 70分(理科2科140分) 大問数 全4問

合格に要する能力(5段階)



出題分野

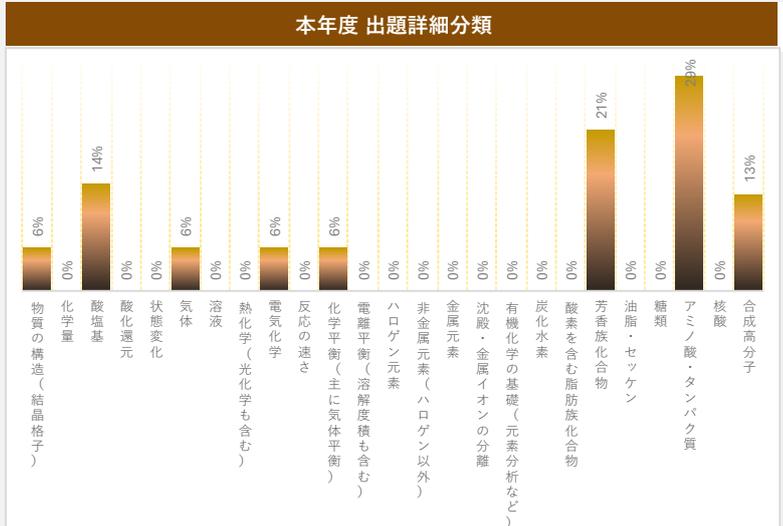
理論	37%
無機	0%
有機	63%

本年度出題テーマ一覧

第1問	タンパク質
第2問	芳香族化合物の構造決定
第3問	陽イオン交換樹脂
第4問	理論化学小問集合

本年度 解答形式

答えのみ記述 100%



合格に要する能力(5段階)

知識力	3.2	物質, 反応, 解法の知識
読解力	3.5	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	3.6	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.4	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	4.0	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無 数値計算あり グラフなし 正誤問題なし 理由記述なし 図表あり

特記事項 特になし

総合評価

難度	3.5	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい	一次合格に必要な正答率(予想)	61%
分量	90分	完答に要する時間(制限時間は70分)	多い	標準	

入試の特徴と対策 強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る 大学が求める学生像 有機化学・高分子分野を非常に重視した出題となっている。中には知識・思考ともに難易度が高い問題もあるため、相応の対策が必要である。理論化学に関しては計算問題を中心に問題されており、スピーディーに処理できるかどうか問われている。過去問に類似した問題が出題されているため、過去問をもとにした勉強が役に立つ。